

SolarAmp mini の故障判断方法について

2017年6月発行

株式会社 電菱

1 : はじめに

本書では SolarAmp mini に起こりうる症状から想定できる破損箇所、またその各検査方法について説明します。

2 : 起こりうる症状から想定できる破損箇所、またその各検査方法

(1) バッテリーエラー発生(2回点滅) または 本体 LED が付きません。

想定破損箇所: ヒューズ

検査方法 : ヒューズの導通確認を行ってください。

確認方法につきましては、下記 URL をご参照ください。

http://www.denryo.com/support/tech_note/pdf/tecnote_fuse_sa-mn05-8.pdf

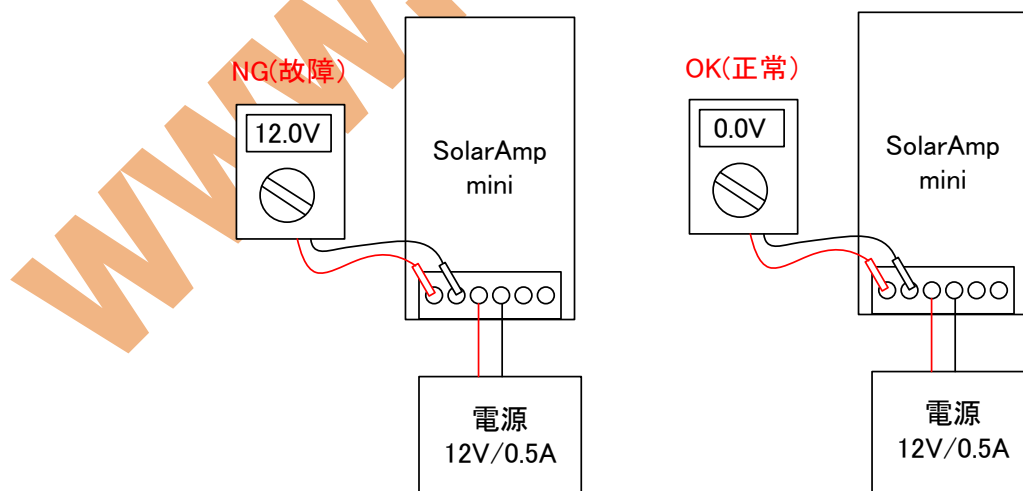
(SolarAmp mini ヒューズ確認方法)

(2) 夜間 バッテリー電力が逆流します。

想定破損箇所: 内部電子部品

検査方法 : 太陽電池未接続でバッテリー端子に安定化電源を接続し、太陽電池端子の電圧を測定してください。

下記左図の様に、PV 端子に安定化電源電圧が検出されれば故障と判断できます。

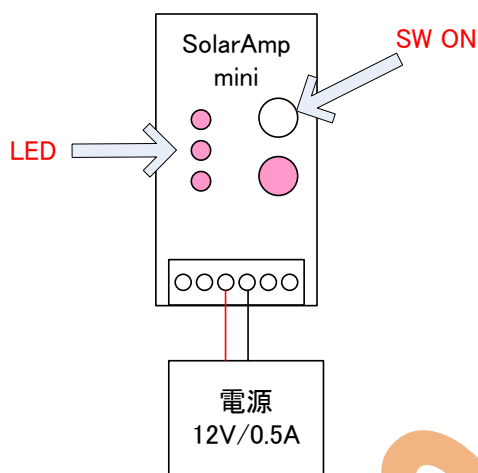


使用機器 : デジタルマルチメーター、安定化電源 (Digital Multi Meter, Power Source)

(3) ボタンを押せません／効きません。

想定破損箇所: 内部機構部品

検査方法 : バッテリー端子に安定化電源を接続した状態でボタン入力出来るか確認を行います。
ボタンの入力を行い、LED が反応しなければ内部機構部品が破損していると判断できます。



使用機器 : 安定化電源(Power Source)

上記の検査を行い故障が判明した場合、修理依頼は下記 URL より宜しくお願い致します。

<http://www.denryo.com/support/repair/index.html> (修理について)